

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立 五箇荘東小学校
校長 鶴原 隆司

中学校区におけるめざす子ども像

自ら学びに向かい、自ら取り組み、自ら表現できる子どもの育成

令和6年度 重点目標

安全で安心な笑顔あふれる学校づくり「あいさつ一番の学校」
開かれた学校づくり「チーム五箇荘東」
未来の学校づくり「ICT教育の推進」

確かな学びの現状

「確かな学び」については、昨年度の各種調査から本校の児童は、ほぼ目標を達成していると考えられる。
しかし、昨年度の児童生徒学習生活状況調査から次のような課題が見られた。
・4分の1の児童が平日まったく読書をしていない学年がある。
・与えられた宿題はしているが、自ら学びに向かう態度として、学校の授業の復習、休日の学習時間、自分で計画を立てて行う学習の弱さがある。
・友達の考えや発言を受け止め思考する力に課題がある学年がある。
・ICTの活用をもう少し充実できる学年がある。
上記のような課題の改善に向け、今年度取り組んでいく。

豊かな心・健やかな体の現状

昨年度の学校アンケートの結果から「自分からあいさつをしている」「人を傷つける言葉を使わないようにしている。」の項目に伸びが見られ、あいさつの取組がようやく浸透してきたことがわががえる。あいさつは、人と人となく上でも大切なものであり、今年度も重点取組としたい。また、「友だちを大切にしている」の項目についても96%の子もたちが肯定しており、意識の高さがうかがえる。ただ、学校生活の中では、友達を傷つける言動について指導が必要な場面も多く、引き続き友だちに対する思いやりや温かい気持ちを育むことを大切に、集団作りに取り組んでいきたい。
新体力テストでは、おおむね堺市平均を上回っており、特に反復横跳びの結果がよかった。立ち幅跳びに課題があり、堺市平均と比べて著しく低く、前年度と比較しても下回る結果が多かった。なわとび朝礼など運動習慣の確立につなげられる取り組みを行うとともに、誰もが楽しく熱中できる体育授業を目指し授業改善に取り組む。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況, 自己評価, 学校関係者評価. Rows include: 総合的な学力の育成, 確かな学び, 授業改善, 豊かな心・健やかな体, 体力向上, 開かれた学校づくり.

校長より(年度末)
「確かな学び」については、家庭学習(今年度から「宿題」から「家庭学習」に変更)は保護者への啓発不足からしっかりと浸透していない状態である。児童の自主的な学びとなるよう取り組みを進めたい。授業改善は自由進度学習やICT活用などが進み一定の成果が見られる。「豊かな心・健やかな体」については、児童のアンケートや日常の様子からおおむね良好な状態である。今後、地域をはじめ様々な人との出会いを通して、さらに心を育んでいきたい。「開かれた学校づくり」については、避難訓練を中心に日々の出来事全体共有する機会により安全意識が高まったが、自分事とするまでには至っていない。今後、地域との連携も視野に入れながら取り組んでいきたい。
学校関係者評価者から(年度末)
学校全体が落ち着いたおり、一人ひとりの児童が授業にも集中している状態を継続してほしい。世代間のつながりは、あいさつ運動の広がりとともに、児童の心の成長につながる。今後、様々な特色ある取組を進めることで、さらに良い学校となるように期待したい。